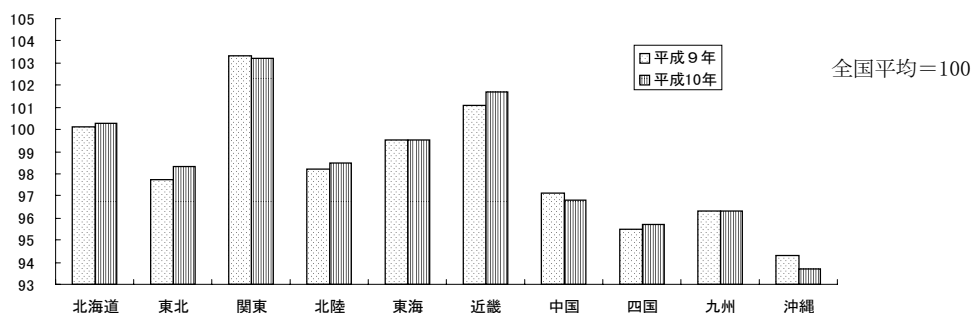


平成 10 年平均消費者物価地域差指数の概況



1 関東地方の物価水準が最も高い

平均 10 年平均消費者物価地域差指数（全国平均＝100）を地方別にみると、総合指数（持家の帰属家賃を除く）は、関東が 103.2 と最も高く、次いで近畿が 101.7、北海道が 100.3 で、これら 3 地方が全国平均

を上回っている。

一方、最も低いのは、沖縄の 93.7 で、次いで四国が 95.7、九州が 96.3 となっている。

消費者物価地域差指数－平成元年～10 年（全国平均＝100）

地 方	総 合（持家の帰属家賃を除く）									
	平成元年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年
北海道	100.8	100.1	100.0	100.6	100.5	100.9	100.4	100.1	100.1	100.3
東北	97.3	97.0	97.2	97.2	97.1	97.4	97.5	97.6	97.7	98.3
関東	103.8	103.8	103.7	104.0	103.5	103.6	103.3	103.2	103.3	103.2
北陸	99.7	99.4	99.7	99.2	98.7	99.1	99.1	98.5	98.2	98.5
東海	98.6	99.1	98.7	98.6	98.6	98.9	99.1	99.1	99.5	99.5
近畿	100.5	101.3	101.2	101.3	101.2	101.3	101.4	101.8	101.1	101.7
中国	96.3	96.8	96.9	96.8	97.5	97.6	97.2	97.0	97.1	96.8
四国	96.4	96.4	96.1	95.5	95.4	95.6	96.0	95.9	95.5	95.7
九州	96.6	96.3	96.4	96.1	96.4	96.1	95.9	96.2	96.3	96.3
沖縄	95.9	95.9	96.3	95.8	95.1	94.6	94.5	95.1	94.3	93.7

2 人口規模が大きい階級ほど物価水準が高い

都市階級別にみると、大都市が 105.3、中都市が 99.4、小都市 A が 97.7、小都市 B が 96.3、町村が 96.1 となっており、人口規模が大きい階級ほど物価水準が高く、大都市の指数は町村に比べ 9.6% 高くなっている。

100.0 と全国平均と同水準となっている。

一方、最も低いのは、沖縄の 95.9 で、次いで九州が 96.5、四国が 97.1、東北が 97.3、中国が 97.4 となっている。

3 物価水準の最も高い東京都区部と最も低い宮崎市の格差は 15.5%

都道府県庁所在市別にみると、前年に引き続き東京都区部が 111.0 と最も高く、次いで横浜市が 107.9、大阪市が 106.8、静岡市が 104.8、京都市が 104.7、神戸市が 104.4 の順に続いている。

また、都道府県庁所在市別にみると、東京都区部が 107.8 と最も高く、次いで京都市が 107.0、大阪市が 105.9、横浜市及び静岡市が 105.3 の順に続いている。

一方、最も低いのは、鳥取市の 96.7 で、東京都区部との格差は 11.5% となっており、次いで秋田市が 97.5、高松市が 97.7、佐賀市が 97.8、福島市が 98.2 の順に続いている。

（注）

大都市：人口 100 万以上の市（仙台市及び千葉市を含む）

中都市：人口 15 万以上 100 万未満の市

小都市 A：人口 5 万以上 15 万未満の市

小都市 B：人口 5 万未満の市

町 村：町及び村

資料：総務庁統計局

4 食料の物価水準の最も高い東京都区部と最も低い鳥取市の格差は 11.5%

食料の指数を地方別にみると、関東が 102.3 と最も高く、次いで近畿が 101.9、東海が 101.1 で、これら 3 地方が全国平均を上回っており、北海道及び北陸が